目の前の「一兎」に全力を尽くす



爽やかな秋風が校庭を吹きぬけ、何をするにも心地よい季節となりました。後期がスタートして半月。子供たちは前期を振り返りながら後期のめあてを立て、充実した学校生活を送っています。

先日、ある新聞記事を目にしました。高校野球で活躍した選手が、プロ野球選手にも、医師にもなりたいという夢を語っていたのです。「二兎を追うものは一兎も得ず」という諺があります。これまでの常識からすると、どちらかに絞るというのが現実的なのかもしれません。しかし私はこの記事を読み、一度きりの人生なのだから、大きな夢を二つ追う生き方もありなのではないかと、これまでにない思いを抱きました。

大切なのは、「二兎を得るために、まず目の前の一兎を全力でつかまえにいく」という姿勢なのではないでしょうか。本校では現在５，６年生が特設陸上クラブの練習に励んでいます。「一秒でもタイムを縮めたい」、「もう少し遠くへ跳びたい」と自分の目標に向かって練習する姿は本当に美しく、エールを送らずにはいられません。選手になれたかどうかに関わらず、自分の限界に挑み、努力した経験は必ずこれからの夢の実現に生きるはずです。

子供たちが大きな夢を描き、その夢をかなえるために、まずは今日できることに全力を尽くせるように、これからも学校と家庭が手を取り合って温かく見守り、励ましていきたいと思います。

保護者の皆様には、引き続き本校の教育活動にご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

校　長